

令和 3 年度

事業報告書



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

大阪府支部

は じ め に

平素は、日本赤十字社大阪府支部の活動に格別のご支援、ご協力をいただいておりますことを、厚くお礼申し上げます。

日本赤十字社では、「救うことを、つづける。」を合言葉として、災害時の救護活動だけではなく、災害時の被害を少しでも軽減するために地域や学校における防災・減災への取り組みを強化しています。また、いのちと健康を守る知識と技術を伝える救急法講習などの普及、ボランティア活動の支援や青少年赤十字活動を通じた青少年の育成、地域防災活動の促進など皆さまにより身近な活動を続けております。

「救いたい」という気持ちが結集したとき、想像を超える大きな力が生まれます。その“うねり”を原動力とする「運動体（Movement）」の赤十字は、紛争、災害、病気、傷害、貧困などに悩む人々を「救う」ため、研鑽を重ね、持てる力を発揮します。

ここに令和3年度に実施いたしました各種事業内容をご報告申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響により、対面での活動が制限される中、令和2年度に引き続き、各種講習・研修・イベントをオンライン等で実施しました。

皆さまにおかれましても、今後とも赤十字運動への一層のご理解とご支援をお願いいたします。

お気づきの点など、ご意見をお寄せいただければ幸いです。

令和4年6月

日本赤十字社大阪府支部

目 次

はじめに

1 国内災害救護	4
1 救護班・救護員の登録状況	4
2 救護員の派遣	4
3 救護員の受入	5
4 大阪府調整本部への支援活動	5
5 救護訓練の実施状況	5
6 救護員研修会の実施状況	6
7 大規模災害用救援物資の備蓄	6
8 支部救護資機材等の整備	7
9 街頭救急箱の設置	7
10 義援金の受付	8
2 国際活動	9
1 国際救援・開発協力要員の登録状況	9
2 国際救援要員の派遣	10
3 支部の国際活動への参加	10
4 海外救援金	10
3 赤十字ボランティア	11
1 赤十字ボランティアの現況（登録状況）	11
2 地域赤十字奉仕団の活動	13
3 特殊赤十字奉仕団の活動	13
4 青年赤十字奉仕団の活動	15
5 個人ボランティアの活動	16
6 奉仕団・ボランティア活動促進事業	17
7 他団体との連携・協力事業	18
4 青少年赤十字	19
1 加盟の現状	19
2 青少年赤十字の活動推進（会議等の開催）	22
3 青少年赤十字指導者の育成（講習会等の開催）	24
4 青少年赤十字メンバーの育成	25
5 国際交流	26
6 募金活動等の状況	26
7 青少年赤十字体験学習プログラム ／出前講座	27
5 救急法等の講習	28
1 救急法	28
2 水上安全法	28
3 健康生活支援講習	29
4 幼児安全法	29
5 防災セミナー	30
6 医療事業	31
1 業務実績	31
2 支部による整備費（救護用医療機器及び 救急医療体制整備）	32
7 看護師などの教育	33
1 大阪赤十字看護専門学校	33
2 赤十字看護大学の学生への奨学金貸与	33
8 社会福祉	34
1 大手前整肢学園	34
2 支部による整備費（社会福祉施設の整備）	34

9 血液事業35

- 1 献血状況累計35
- 2 血液製剤の供給本数35
- 3 支部による支援（採血受入機関の整備等）...35

10 活動資金の募集36

- 1 財政基盤の強化36
- 2 活動資金募集実績表36
- 3 会員数38
- 4 日赤地区分区分事務担当者等会議・研修会... 38

11 赤十字の広報39

- 1 広報物の作成39
- 2 マスメディア等による広報40
- 3 その他41

12 赤十字思想及び国際人道法の普及 ...42

- 1 国際人道法の普及42

13 評議員会43

- 1 開催状況43

14 赤十字大会44

- 1 表彰者の内訳44

15 会計45

- 1 活動資金の収入支出45

16 日本赤十字社の機構46

- 1 機構46

17 大阪日赤有功会48

- 1 活動資金募集協力48
- 2 赤十字活動への支援48
- 3 修学奨励48
- 4 会報誌の発行49
- 5 広報紙「日赤大阪」等の配付49
- 6 総会の開催（文書審議）49
- 7 常任委員会の開催（文書審議）49

1 国内災害救護

近年、災害は頻発化・激甚化・広域化することが増え、近畿では南海トラフ地震など甚大な被害を及ぼす災害が予想されています。

このため当支部では、災害救護活動をより効果的に実施するために、救護員の資質向上を目標とした研修や訓練を実施し、救護体制及び救護資機材の整備に積極的に取り組んでいます。

令和3年度は令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染者の入院先調整業務等を支援するため、大阪府調整本部（入院フォローアップセンター）へ大阪府支部職員（看護師）を派遣しました。また、新型コロナウイルス感染症拡大によるひっ迫した医療状況をふまえ、動画配信型の研修を実施しました。感染症まん延下でも災害救護活動を実施できる体制を構築しています。

1 救護班・救護員の登録状況

（令和4年3月31日現在）

支部・施設	班数	救護班要員（人）							血液供給要員	災害対策本部要員	計（人）
		医師	看護師長	看護師	主事	助産師	薬剤師	その他			
支 部	—	—	—	—	—	—	—	—	—	29	29
大阪赤十字病院	15	23	15	29	47	2	10	—	—	—	126
高槻赤十字病院	5	5	5	10	10	1	5	5	—	—	41
血液センター	—	—	—	—	—	—	—	—	99	—	99
計	20	28	20	39	57	3	15	5	99	29	295

2 救護員の派遣

大阪府からの派遣依頼に基づき、新型コロナウイルス入院患者待機ステーションで活動するため、DMAT隊員（看護師、業務調整員）を派遣しました。

派遣場所	派遣期間	活動内容	派遣施設（延べ人数）
			大阪HP
入院患者待機ステーション	5月2日～4日	救急搬送困難な患者の療養支援	6人

3 救護員の受入

厚生労働省等からの依頼に基づき、新型コロナウイルスの第4波により病床がひっ迫した大阪府内の病院等を支援するため、全国の赤十字病院から看護師が派遣されました。

派遣場所	派遣期間	派遣元の赤十字病院	派遣人数
大阪コロナ重症センター	4月20日～6月30日	富山、京都第一、松江、高知	6人
高槻赤十字病院	4月20日～5月5日	伊勢、姫路、松江、高知	4人
関西医科大学総合医療センター	6月1日～6月21日	八戸、仙台、石巻、那須、足利、前橋、高知	8人

4 大阪府調整本部への支援活動

大阪府からの派遣依頼に基づき、新型コロナウイルス感染者の入院先調整業務等を支援するため、大阪府調整本部（入院フォローアップセンター）へ大阪府支部職員（看護師）を派遣しました。

派遣期間	活動場所	派遣延べ人数（人日）
4月5日～6月30日	大阪府庁	28
7月27日～9月12日	大阪府庁	15

5 救護訓練の実施状況

主催		実施日	訓練の名称	会場	参加施設（人）				
					大阪 H P	高槻 H P	血液 センター	支部	計
赤十字	大阪赤十字病院	10月1日	大阪赤十字病院 災害訓練	大阪赤十字病院	多数				多数
	高槻赤十字病院	12月16日	高槻赤十字病院 災害訓練	高槻赤十字病院		多数			多数
行政	近畿地方整備局 ・堺市	11月5日	近畿地方整備局・堺市 合同総合防災訓練	堺泉北港堺2区 基幹的広域防災拠点	8	－	－	6	14
その他	大阪国際空港	10月14日	大阪国際空港航空機事故 医療救護活動部分訓練	大阪国際空港	－	2	－	1	3
		11月25日	大阪国際空港航空機事故 対策総合訓練		－	11	－	1	12
計					5回	8以上	13以上	－	8 29以上

（注）検証・オブザーバー、来賓の参加を除く。

6 救護員研修会の実施状況

主催	実施日	研修の名称	会場	参加施設（人）				
				大阪 HP	高槻 HP	血液 センター	支部	計
本社	3月13日	日赤災害医療コーディネート フォローアップ研修会	オンライン	5	5	—	6	16
支部	4月1日	災害対策本部要員基礎研修会	大阪赤十字会館	—	—	—	4	4
	7月26日 ～9月30日	救護員基礎研修会	オンライン	79	1	12	6	98
	8月25日	災害対策本部要員研修会	大阪赤十字会館	—	—	—	20	20
	9月17日	資機材習熟研修会	大阪赤十字会館他	—	—	—	9	9
	2月18日			—	—	—	8	8
	11月10日	こころのケア研修会	大阪赤十字会館	36	6	—	—	42
	12月21日	災対本部要員先遣隊派遣演習	日赤和歌山県 支部他	—	—	—	8	8
	通年	中型免許取得講習	関目自動車学校	2	—	—	1	3
	通年	救護員研修会（感染対策）	オンライン	多数				多数
その他	2月15日 ～3月15日	都道府県災害医療 コーディネーター研修	オンライン	—	2	—	—	2
計			11回	122	14	12	62	210

（注）研修スタッフの参加を除く。

7 大規模災害用救援物資の備蓄

（令和4年3月31日現在）

（1）災害救助法が適用される災害時に配付する物資

大阪赤十字病院の「日本赤十字社災害拠点病院ロジスティクス・センター」及び高槻赤十字病院の「高槻赤十字病院災害救護倉庫」に備蓄しています。

救援物資の種類	備蓄数
毛 布	7,200枚
緊急セット	1,866個
安眠セット	555個

- (2) 災害救助法が適用されない地震、風水害、火災、その他の災害に配付する物資
大阪府支部の「救護倉庫」及び各地区・分区の倉庫等に備蓄しています。

救援物資の種類	備蓄数
毛 布	1,330枚
日用品セット	359個

8 支部救護資機材等の整備

救護資機材を計画的に整備、更新しました。

品名	数量	用途
災害救護車両	1台	救護員や救援物資を迅速に搬送するため
車両用非常電源	1台	救護車両の不測の事態に備えるため
情報通信機器	3台	災害時に円滑に情報収集及び情報共有を行うため
dERU ^{※1} 用ビデオ喉頭鏡	1セット	挿管が必要な傷病者用の医療機器として
発動発電機点検・修理	5台	災害時の活動において電力を確保するため
赤十字業務無線機点検・整備	一式	災害用の業務用無線機を点検及び次世代規格に対応するため
非常食 ^{※2}	約100人分	災害時の救護員用食料を確保するため
災害対策本部空調設備改修	一式	災害時の活動拠点の環境を整備するため

※1 dERU (domestic Emergency Response Unit) : 大規模災害等で医療救護活動を行うことを想定した緊急仮設診療所用の資機材と要員。

※2 救護員用として、約500人分を備蓄しており、ローリングストック法により毎年購入しています。

9 街頭救急箱の設置

応急手当を必要とする府民に使っていただくことを目的に、府内の警察署や交番などに救急箱を設置しています。

設置先	設置数(個)	備考
大阪府警察本部	936	府内各警察署、交番などに設置

10 義援金の受付

名称	受付額（円）
平成30年7月豪雨災害義援金	121,465
令和2年7月豪雨災害義援金	1,536,468
令和3年2月福島県沖地震災害義援金	333,458
令和3年島根県松江市大規模火災義援金	20,754
令和3年7月大雨災害義援金	1,161,330
令和3年台風第9号等大雨災害義援金	316,488
令和3年8月大雨災害義援金	2,552,449
令和3年長野県茅野市土石流災害義援金	588,876
令和4年3月福島県沖地震災害義援金	142,700
総 額	6,773,988

2 国際活動

日本赤十字社はスイスのジュネーブにある赤十字国際委員会、国際赤十字・赤新月社連盟や各国の赤十字社・赤新月社と連絡を取り合って、武力紛争の犠牲者や自然災害の被災者に対して緊急に救援活動を行うとともに、保健衛生事業や防災事業などの中・長期の視野に立った開発協力事業を実施しています。

当支部でも、国際的な視野を持った救援要員の養成および保健医療支援などの国際活動を積極的に行っており、大阪赤十字病院は日本赤十字社の「国際医療救援拠点病院」に指定されています。令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、海外への派遣が縮小されましたが、オンライン研修などを受講し、海外における救援活動を迅速に実施できる体制を構築しています。

1

国際救援・開発協力要員の登録状況

(令和4年3月31日現在)

支部・施設等	医師	看護師 助産師	管理要員 (含コメディカル)	計(人)
支 部	—	—	3	3
大 阪 赤 十 字 病 院	3	9	15	27
高 槻 赤 十 字 病 院	—	3	—	3
血 液 セ ン タ ー	—	—	2	2
ボ ラ ン テ ィ ア 等	—	—	—	0
計	3	12	20	35

2 国際救援要員の派遣

新型コロナウイルス感染症が世界的に流行している状況でも、日本赤十字社では医療支援事業を継続するために、国際救援要員の現地派遣とリモート派遣（日本からの遠隔支援）を組み合わせた支援を行っています。

事業名	派遣先	派遣形態	派遣期間	所属施設	派遣要員	計(人)
ハイチ地震 救援事業	ハイチ共和国	現地	10月～12月	大阪赤十字病院	薬剤師1人	1
パレスチナ 赤新月社医療 支援事業	レバノン 共和国	現地	8月～11月	大阪赤十字病院	看護師1人	1
	パレスチナ 暫定自治区	リモート派遣	令和3年2月～ 令和4年3月	大阪赤十字病院	看護師1名	1
	レバノン 共和国	リモート派遣	4月～8月	大阪赤十字病院	看護師1名	2
			令和3年12月～ 令和4年3月		看護師1名	
計					2事業	5

3 支部の国際活動への参加

事業名	国名	支援金額（円）	備考
コミュニティ防災事業	インドネシア共和国	100万	平成30年度より実施
計	1事業	100万	

4 海外救援金

名称	受付額（円）
バングラデシュ南部避難民救援金	30,000
2021年ハイチ地震救援金	6,526
アフガニスタン人道危機救援金	51,000
トンガ大洋噴火津波救援金	84,656
ウクライナ人道危機救援金	10,350,298
総 額	10,522,480

3 赤十字ボランティア

赤十字奉仕団とは、赤十字の使命である人道的な諸活動を実践しようとする人々が集まって結成された、ボランティア組織です。昭和23年に創設された赤十字奉仕団は、現在に至るまで、その時代にふさわしい先駆的な活動を展開しています。

赤十字奉仕団には、地域ごとに組織されている「地域赤十字奉仕団」、若者によって組織されている「青年赤十字奉仕団」、無線、看護など特殊な技能をもった人たちによって組織されている「特殊赤十字奉仕団」があります。また、個人で赤十字活動に参画されている個人ボランティアのグループもあります。赤十字の活動は、こうしたボランティア活動によって支えられています。

令和3年度も新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続き、活動の休止や縮小を余儀なくされましたが、知恵を出し合い、工夫しながら活動をされています。



裁縫ボランティア



防災ボランティア



安全事業指導奉仕団

1

赤十字ボランティアの現況（登録状況）

（1）地域赤十字奉仕団

	市区町村数	奉仕団数	団員数（人）（令和3年4月1日現在）		
			男	女	計
区	31	31	107,348	92,409	199,757
市	31	31	264,208	230,671	494,879
町	9	9	138	168	306
村	1	1	13	0	13
計	72	72	371,707	323,248	694,955

(2) 特殊赤十字奉仕団

奉仕団名	団員数（人）（令和4年3月31日現在）		
	男	女	計
日本赤十字社大阪府支部芸能奉仕団	15	22	37
大阪赤十字安全事業指導奉仕団	61	49	110
日本赤十字社大阪府支部機動救助奉仕団	36	3	39
日本赤十字社大阪府支部 大阪府歯科医師自動車連盟救助奉仕団	17	3	20
日本赤十字社大阪府支部語学奉仕団※	—	—	—
日本赤十字社大阪府支部写真奉仕団	10	3	13
大阪赤十字病院奉仕団	16	34	50
日本赤十字社大阪府支部看護奉仕団	1	17	18
近畿大学赤十字奉仕団	35	43	78
大阪府歯科衛生士会赤十字奉仕団	0	84	84
大阪府ビューティーケア赤十字奉仕団	2	133	135
大阪府青少年赤十字賛助奉仕団	46	12	58
高槻日赤技能奉仕団	3	19	22
計 13団	242	422	664

※令和2年4月1日より日本赤十字社大阪府支部語学奉仕団は休団。

(3) 青年赤十字奉仕団

奉仕団名	団員数（人）（令和4年3月31日現在）		
	男	女	計
大阪府青年赤十字奉仕団	14	20	34
玉手山学生赤十字奉仕団	5	48	53
大阪産業大学学生赤十字奉仕団	9	1	10
計 3団	28	69	97

(4) 個人ボランティア

ボランティア名	人数（人）（令和4年3月31日現在）		
	男	女	計
赤十字防災ボランティア	50	15	65
裁縫ボランティア	0	29	29
救急法指導ボランティア	12	9	21
健康生活支援講習指導ボランティア	1	14	15
幼児安全法講習指導ボランティア	5	19	24
子育て支援ボランティア	1	28	29
計 6グループ	69	114	183

2 地域赤十字奉仕団の活動

3

赤十字ボランティア

(1) 地域赤十字奉仕団大会等の開催

実施日	地区名	場所	種別
【大阪市】			
10月26日	平野区	平野区民ホール	大会（縮小開催）
11月5日	住吉区	住吉区民センター	大会（縮小開催）
11月21日	鶴見区	鶴見区民センター	大会（縮小開催）
11月24日	淀川区	大阪ガーデンパレス	大会（縮小開催）
2月25日	西淀川区	西淀川区民センター	大会（縮小開催）

実施日	地区名	場所	種別
【衛星都市】			
1月14日	八尾市	八尾市立総合体育館	大会（70周年記念）
1月21日	枚方市	枚方市総合文化芸術センター	大会（70周年記念）

(2) 赤十字防災デー（地域における赤十字啓発イベント）

「災害からいのちをまもる」ための取組みとして、防災・減災に向けた地域力向上等を目的とし、防災啓発にかかる展示や資材の配布、新型コロナウイルス感染症予防啓発や資材の配布、災害食等の普及や資材の配布などを以下の7市区町において実施しました。

阿倍野区（オンライン）、堺市中区、池田市、吹田市、守口市、高石市、豊能町

3 特殊赤十字奉仕団の活動内容

奉仕団名	概要	令和3年度の活動内容 （コロナ禍における主な活動）
日本赤十字社大阪府支部芸能奉仕団	プロの芸能人により組織された奉仕団で、高齢者福祉施設などを訪問し、漫才・マジック・曲芸・大神楽・浪曲・落語・歌謡ショーなど、多彩な演芸で人々に笑顔を届けている。	・高齢者福祉施設に訪問（1回）マジック、歌謡ショーを披露
大阪赤十字安全事業指導奉仕団	救急法、水上安全法などの指導を通して、一人でも多くの府民がその知識や技術を習得し、安全な生活が営まれるよう努力している。	・支部救急法基礎講習（対面型）への参加（6回） ・奉仕団員限定動画の配信 ・「かどま市スポーツレクリエーションフェスティバル」への奉仕団紹介動画の配信 ・講習用資材の整備（AEDパッドの取り替え）

奉仕団名	概要	令和3年度の活動内容 (コロナ禍における主な活動)
日本赤十字社大阪府支部機動救助奉仕団	災害時に無線技術を用いて災害救護活動に協力、また日頃から災害に備えた訓練や業務無線伝搬調査などを実施している。	・役員会（10回） ・他県赤十字無線奉仕団との非常通信訓練（9回） ・大阪市内の伝搬調査通信訓練（1回）
日本赤十字社大阪府支部大阪府歯科医師自動車連盟救助奉仕団	歯科医師の技術を活かし、機動力のある自動車を駆使して災害時の救護活動をする目的で結成された。救急法講習会の開催、器具の点検や薬品の整備など災害に備えている。	・大阪府歯科医師自動車連盟第37回法歯学研修会への参加 ・大阪府歯科医師会会員、家族、従業員を対象とした救急法短期講習の開催 ・1.17、3.11メモリアルデーへの参加（歯科用救急器具の点検、薬品の交換・補充等） ・日本法歯学医学会への参加
日本赤十字社大阪府支部語学奉仕団	府内在住の外国人を対象に「日本語教室」を定期的に行き、日本語能力の向上に寄与していたが、団運営者の不足により令和2年4月より活動休止中。	
日本赤十字社大阪府支部写真奉仕団	赤十字関係行事での写真撮影、記録を通じて、赤十字事業の普及を図る。	・支部職員への写真の撮り方研修の実施 ・大阪府赤十字大会での記録・記念写真の撮影 ・団紹介動画作成講習会の開催
大阪赤十字病院奉仕団	大阪赤十字病院院内での受付案内や車椅子の移送介助、入院患者を対象とした院内図書活動などを行っている。 また、福祉施設へ縫製したパジャマなどを届ける裁縫奉仕活動も行っている。	・衛生材料整理、整肢学園洗濯たたみ、車いすメンテナンス ・裁縫部活動 ・車いす移送活動、案内、入院サポートセンターからの患者さんの移送 ・感染予防講習会受講 ・NHK海外たすけあいに協力 ※期間によってはコロナにより休止。 図書活動は全面休止
日本赤十字社大阪府支部看護奉仕団	看護師（准看護師）免許をもつ者で組織されており、各種イベントで参加者が安全に過ごせるように保健活動を行っている。	・役員会（3回） ・総会（5月：文書審議） ・臨時総会（11月） ・学校行事等での活動（12月、3月）
近畿大学赤十字奉仕団	大学や青年赤十字奉仕団と連携を図り学内での献血推進活動等、幅広い活動を行っている。	・学内での献血呼びかけ ・赤十字について学ぶ研修、救急法の勉強会 ・大学周辺の清掃活動
大阪府歯科衛生士会赤十字奉仕団	福祉施設において、口腔衛生指導や口腔機能訓練を定期的に行い、公衆歯科衛生の普及向上を図っている。	・知的障害児生活施設における口腔ケア奉仕活動 ・視覚障害リハビリテーションセンターにおける口腔ケア奉仕活動 ※いずれもコロナ禍で訪問できないため、歯ブラシ・指導用パンフレットを送付
大阪府ビューティーケア赤十字奉仕団	福祉施設入所者に対し、ハンドケア、フェイシャルケアなどを施すことにより、ケアを受けた方が笑顔を取り戻し、生きる励みになるよう活動が続けている。	・濃厚接触を伴う活動のため、施設訪問のみならず、団員の勉強会も未開催 ・オンラインでの発信や交流が難しく、書面での現状報告を実施

奉仕団名	概要	令和3年度の活動内容 (コロナ禍における主な活動)
大阪府青少年赤十字 賛助奉仕団	青少年赤十字指導者であった経験を活かし、新たな指導者やメンバーの育成に取り組んでいる。また、青少年赤十字活動の記録、広報を担い、事業の伸展に寄与している。	・総会（文書審議） ・役員会（4回） ・青少年赤十字100周年記念事業用のパネル作成協力 ・会報発行 ・青少年赤十字指導者協議会のコンベンションに参加と取材
高槻日赤技能奉仕団	健康生活支援講習で習得した技能をもとに、高槻市が主催する行事での救護活動（応急手当）や高槻赤十字病院での受付案内や患者のサポート活動を行っている。	・総会（5月） ・定例会（12月） ・勉強会「認知症について」 ※新型コロナウイルス感染症により、病院ボランティア部・救急部・健康生活部いずれも活動中止

4 青年赤十字奉仕団の活動内容

奉仕団名	概要	令和3年度の活動内容 (コロナ禍における主な活動)
大阪府青年赤十字奉仕団	18歳から30歳までの社会人や学生で組織されており、若者の感性を活かした行事や青少年赤十字行事への参加など、積極的に活動を行っている。	・防災ピア・エデュケーション ・放課後デイサービス ・定例会（オンライン・対面） ・オンライン勉強会（赤十字・防災について） ・核兵器廃絶フラッシュモブ（オンライン） ・新入団員セミナー
玉手山学生赤十字奉仕団	学内での献血推進活動や特別支援学校入所児童との交流（保育ボランティア、ハイキング、運動会等）の活動を行っている。	・学内献血（2回） ・感染症対策を周知するためのミーティング ・1・2年目の団員向けオリエンテーション（オンライン）
大阪産業大学学生赤十字奉仕団	学内での献血推進活動や大東市（大学の所在地）に住む障がい児童との交流などの活動を行っている。	・毎週木曜日に部会を実施、活動連絡や支部からの情報共有 ・学内に献血バスを2回設置し、呼びかけを実施 ・子ども食堂ボランティア（月2回） ・フードバンク活動

奉仕団名	概要	令和3年度の活動内容 (コロナ禍における主な活動)
合同活動 (青年・玉手山・ 大阪産業大学・ 近畿大学)	●大手前整肢学園児童との交流 ・一泊園外活動 ・一日園外活動 ・定期交流会（通称：OSTEK）及び季節の行事（夏祭り、花火大会、クリスマス会など） ●児童養護施設入所児童招待プログラム「赤十字冬のつどい」 ●HIV/AIDSピア・エデュケーション（夏・冬の2回開催） ●防災ピア・エデュケーション ●国際ボランティア活動（通称：ORIVA） ・外国人観光客への防災普及活動 ・赤十字国際会議への派遣実績 ●新入団員セミナーの開催（活動紹介、グループワークなど） ●募金活動（災害義援金）	・新入団員セミナー（オンライン） ・防災ピア・エデュケーション（オンライン） ・冬のつどい ・ユース会議（代表者会議） オンライン月1回程度

5 個人ボランティアの活動

名称	概要	令和3年度の活動内容 (コロナ禍における活動)
防災ボランティア	普段から研修を重ねることで防災や災害救護について学び、災害時の被災者支援活動に活かしている。また、親と子の防災セミナーなど、府民を対象に防災意識を啓発する活動を行っている。	・親と子の防災セミナー（オンライン） ・青少年赤十字防災教育プログラム ・運営委員会
裁縫ボランティア	高齢者用のパジャマやひざかけ、乳児用のスタイ、スモック、ボールなどを縫製し、府内の社会福祉施設に届けている。手作りマスクの縫製にも取り組んでいる。	・高齢者福祉施設、乳児院、母子支援施設への縫製品の寄贈 ・あいりん手作りマスクプロジェクトへの参加（マスクの寄贈）
子育て支援ボランティア	支部主催の「子育て支援ボランティア養成講座」を受講後に登録した個人ボランティアで、献血ルームでのお子様見守りサービスや、大阪赤十字病院小児病棟にて絵本の読み聞かせや紙芝居等の活動を行っている。	・大阪赤十字病院小児病棟への季節飾りの作成と寄贈

行事名	実施日	場所	参加者	参加者 (人)	内容
赤十字ボランティア・基礎研修	7月10日	オンライン	特殊・青年奉仕団、個人ボランティア	79	- 赤十字のおこりと基本原則 - 赤十字とボランティア - ボランティア活動事例紹介 - 災害と赤十字ボランティア
ボランティア・リーダーシップ研修（1）	10月26日	大阪赤十字会館	地域赤十字奉仕団	13	- 血液事業の現状について - 赤十字防災セミナー「災害への備え（地震・津波）」 - 新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！
ボランティア・リーダーシップ研修（2）	11月30日	大阪赤十字会館	地域赤十字奉仕団	10	- 日本赤十字社の現状について - 避難所での生活支援 - 奉仕団のリーダーに求められるもの 大阪教育大学教育協働学科 新崎 国広 教授
地域・特殊奉仕団合同委員長研修	12月14日	大阪赤十字会館	地域・特殊奉仕団	31	新型コロナウイルス感染症と赤十字 大阪赤十字病院 看護部 松生 恭子 副部長
赤十字ボランティア防災研修	1月16日	大阪赤十字会館	特殊・青年奉仕団、個人ボランティア	28	- 災害時の赤十字防災ボランティアについて - ボランティアとこころのケア
赤十字ボランティア・リーダーシップ研修	2月13日	大阪赤十字会館	特殊・青年奉仕団、個人ボランティア	15	- グループとリーダーシップ - 人道的価値観について - ボランティアリーダーの役割と視点、地域でのボランティアニーズと活動 大阪教育大学教育協働学科 新崎 国広 教授
赤十字ボランティアのつどい	3月13日	大阪赤十字会館	（主催） 赤十字ボランティアのつどい実行委員会／大阪府支部	44	- 表彰式（有功章・感謝状の伝達） - 団紹介動画の上映 - コロナ禍における日赤の活動報告

※地域奉仕団対象のボランティア基礎研修は9月28日・29日に予定していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、中止しました。

※ボランティアフェスティバルは新型コロナウイルス感染症拡大のため中止し、代わりに特殊奉仕団と防災ボランティアの団紹介動画を作成しました。

7 他団体との連携・協力事業

(1) おおさか災害支援ネットワーク（OSN）

大阪府域における災害発生に備え、平時より多様な市民セクターや企業・団体等が行政や関係機関と連携し、互いの活動や災害に対しての取り組み、課題を共有しながら、災害時には広域的かつ効果的に連携し、被災者支援を円滑に行うことを目的として平成26年から組織されています。

当支部は7団体ある世話役団体の1つとして参加しており、毎月1回程度世話役会を開催しています。令和3年度は7月と1月に定例会を開催し、連携を深めました。

(2) 大阪災害支援活動連携会議

令和2年4月1日より、大阪府内で大規模災害が発生した場合における被災者への迅速かつ円滑な支援を目的として、大阪府内の関係機関が平時から連携し、官民協働で施策の情報共有・推進を図るため設置されています。

構成団体は、大阪府、大阪府社会福祉協議会、おおさか災害支援ネットワーク（OSN）世話役団体。当支部は、OSN世話役団体の一員として参加しています。

令和3年度は3回の会議に参加しました。

(3) 大阪府協同組合・非営利協同セクター連絡協議会（OCoNoMi おおさか）

令和2年7月14日より、大阪府内の協同組合及びNPO等の非営利協同セクターが相互に連携して共通課題の解決に取り組み、もって協同組合・非営利協同セクターの活動促進を目的として設置されています。

構成団体は、大阪労働者福祉協議会、大阪府漁業協同組合連合会、大阪府森林組合、大阪府生活協同組合連合会、大阪府農業協同組合中央会、近畿労働金庫、大阪ボランティア協会、日本労働者協同組合（ワーカーズコープ）連合会センター事業団関西事業本部、及び日本赤十字社大阪府支部。

令和3年度は、委員会1回、幹事会6回に参加しました。

4 青少年赤十字

青少年赤十字は、青少年が赤十字の精神に基づいて、世界の平和と人類の福祉に貢献できるよう、青少年自身が日常生活の中で望ましい人格と精神を自ら形成することを目的としています。

この目的を達成するため、青少年にも分かりやすい三つの具体的な実践目標と望ましい態度目標を次のように掲げています。



上記の目標は、世界中の青少年赤十字に共通するもので、日本では学校教育の中で実践されています。

1 加盟の現状

(1) 登録状況

校種	大阪府内の設置数	加盟校数	(増減)	加盟率	メンバー数
幼稚園	550 園	19 園	(-2)	3.5 %	1,075
認定こども園	750 園	2 園	(0)	0.3 %	546
保育所	981 所	4 所	(0)	0.4 %	422
小学校	994 校	289 校	(-43)	29.1 %	112,690
中学校	517 校	74 校	(-18)	14.3 %	25,526
高等学校	254 校	25 校	(-23)	9.8 %	16,636
特別支援学校	50 校	5 校	(-3)	10.0 %	849
合計	4,096 校園所	418 校園所	(-89)	10.2 %	157,744

出典 令和3年度「大阪の学校統計」学校基本調査速報/大阪府認可保育情報

(2) ブロック・市町村別登録状況

ブロック	協議会	市区町村	幼稚園 (増減)	認定こ ども園 (増減)	保育所 (増減)	小学校 (増減)	中学校 (増減)	高等 学校 (増減)	特別支 援学校 (増減)	合計 (増減)
大阪府	全	体	0 (0)	0 (0)	0 (0)	11 (-17)	6 (0)	4 (-3)	0 (-2)	21 (-22)
	内	北 区	0	0	0	1 (-3)	0	0 (-1)	0 (-1)	1 (-5)
		都 島 区	0	0	0	1	1 (1)	0	0	2 (1)
		福 島 区	0	0	0	0 (-1)	0	0	0	0 (-1)
		此 花 区	0	0	0	0 (-1)	0	0	0	0 (-1)
		中 央 区	0	0	0	0	0	0 (-1)	0	0 (-1)
		西 区	0	0	0	0	0	0	0	0
		港 区	0	0	0	0 (-1)	0	0	0	0 (-1)
		大 正 区	0	0	0	0 (-1)	1	0	0	1 (-1)
		天 王 寺 区	0	0	0	2	0	0	0	2
		浪 速 区	0	0	0	0	0	0	0	0
		西 淀 川 区	0	0	0	0 (-1)	0	0	0	0 (-1)
		淀 川 区	0	0	0	0	0	0	0	0
		東 淀 川 区	0	0	0	0	0	0	0	0
		東 成 区	0	0	0	3 (-6)	4	0	0	7 (-6)
		生 野 区	0	0	0	0	0	2 (1)	0 (-1)	2
		旭 区	0	0	0	0	0	0 (-1)	0	0 (-1)
		城 東 区	0	0	0	0 (-1)	0	1	0	1 (-1)
		鶴 見 区	0	0	0	0 (-1)	0	0	0	0 (-1)
		阿 倍 野 区	0	0	0	0	0	0	0	0
		住 之 江 区	0	0	0	0 (-1)	0	0	0	0 (-1)
		住 吉 区	0	0	0	1	0	0	0	1
		東 住 吉 区	0	0	0	0	0	0	0	0
		平 野 区	0	0	0	2	0 (-1)	1 (-1)	0	3 (-2)
		西 成 区	0	0	0	1	0	0	0	1
		そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0
堺市	全	体	8	0	0	92	5 (-1)	1 (-1)	2	108 (-2)
	内	堺 区	1	0	0	16	1	0	0	18
		中 区	2	0	0	13	0	0	0	15
		東 区	2	0	0	9	0	0 (-1)	0	11 (-1)
		西 区	1	0	0	14	0	1	0	16
		南 区	0	0	0	19	1	0	1	21
		北 区	1	0	0	15	1	0	1	18
		美 原 区	1	0	0	6	2 (-1)	0	0	9 (-1)
豊能	豊 中 市		0	0	0	0	1	0	0	1
	池 田 市		0	0	0	0	1 (1)	0	0	1 (1)
	箕 面 市		0	0	0	1 (-1)	0	0 (-1)	1 (1)	2 (-1)
	豊 能 郡	能 勢 町	0	0	0	0	0	0	0	0
		豊 能 町	0	0	0	0	1 (1)	0	0	1 (1)

ブロック	協議会	市区町村	幼稚園 (増減)	認定こども園 (増減)	保育所 (増減)	小学校 (増減)	中学校 (増減)	高等学校 (増減)	特別支援学校 (増減)	合計 (増減)
三 島	吹 田 市		0	0	0	0 (-1)	0	0	0	0 (-1)
	摂 津 市		0	0	0	0	0	0 (-1)	0	0 (-1)
	茨 木 市		0	0	0	0	0	1	0 (-1)	1 (-1)
	高 槻 市		0	0	0	1 (-8)	0 (-3)	0	0	1 (-11)
	三 島 郡	島 本 町	0	0	0	1	0 (-1)	0	0	1 (-1)
北河内	守 口 市		0	0	0	14 (1)	8	1	0	23 (1)
	門 真 市		0	0	0	0 (-1)	2 (1)	0	0	2
	寝 屋 川 市		0	0	0	0	0	0 (-1)	0	0 (-1)
	枚 方 市		0	0	0	0 (-2)	1 (-1)	0 (-1)	0	1 (-4)
	大 東 市		0	0	0	1	0	1 (-1)	0	2 (-1)
	四 條 畷 市		0	0	0	6	3	0	0	9
	交 野 市		0	0	0	0 (-5)	0	0	0	0 (-5)
中河内	東 大 阪 市		0	0	0	17 (-10)	1 (-1)	0 (-1)	1	19 (-12)
	八 尾 市		0	0	0	0	0	0	0	0
	柏 原 市		0	0	0	0	0	0	0	0
南河内	松 原 市		1	0	0	0 (-1)	1 (-1)	0	0	2 (-2)
	藤 井 寺 市		0	0	0	0	0	0	0	0
	羽 曳 野 市		0	0	0	0	0	0	0	0
	富 田 林 市		0	0	0	17 (1)	7 (-1)	0	0	24
	河内長野市		0	0	0	13	7	0	0	20
	大阪狭山市		3	0	1	7	3	0	0	14
	南河内東部	太 子 町	0	0	0	2	1	0	0	3
		河 南 町	0	0	0	2	1	0	0	3
		千早赤阪村	0	0	0	2	1	0	0	3
泉 北	和 泉 市		2 (-2)	0	0	21	10	0 (-1)	0	33 (-3)
	高 石 市		0	0	0	7	3	0 (-1)	0	10 (-1)
	泉大津市		0	0	0	9 (1)	2 (-1)	0	0	11
	忠 岡 町		1	0	0	2	1	0	0	4
泉 南	岸 和 田 市		0	0	0	24	1 (-6)	0 (-1)	0	25 (-7)
	貝 塚 市		0	0	0	0	0	0 (-1)	0	0 (-1)
	泉 佐 野 市		0	0	0	12	0	0	0	12
	泉 南 市		0	0	0	9	0	0 (-1)	1 (-1)	10 (-2)
	阪 南 市		4	0	3	8	2	0	0	17
	泉 南 郡	熊 取 町	0	0	0	5	0 (-1)	0	0	5 (-1)
		田 尻 町	0	0	0	1	0	0	0	1
岬 町		0	0	0	3	0 (-1)	0	0	3 (-1)	
私 立 高 等 学 校							17 (-8)		17 (-8)	
私 立 中 学 校						5 (-3)			5 (-3)	
私 立 小 学 校						1				
私 立 幼 稚 園			0	2						2
合 計			19 (-2)	2 (0)	4 (0)	289 (-43)	74 (-18)	25 (-23)	5 (-3)	418 (-89)

(1) 本社主催

行 事 名	実施場所	実施期日	出 席 者
青少年赤十字全国指導者協議会 総会・研修会	オンライン	6月29日	大阪府青少年赤十字指導者協議会 会 長 天野 久
全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会 役員会・総会	オンライン	7月17日	大阪府青少年赤十字賛助奉仕団 委員長 楠 玲子

(2) 第4（近畿）ブロック主催

行 事 名	実施場所	実施期日	出 席 者
第4（近畿）ブロック青少年赤十字 指導者協議会	開催なし		

(3) 支部主催

行 事 名	実施場所	実施期日	出 席 者
大阪府青少年赤十字指導者協議会	文書審議	5月	
	大阪赤十字会館	2月6日	会員 6人
大阪府高等学校青少年赤十字指導者 協議会	オンライン	6月6日	会員 6人
	大阪赤十字会館/ オンライン併用	2月19日	会員 8人
大阪府青少年赤十字指導者協議会 青少年赤十字活動推進専門委員会	大阪赤十字会館/ オンライン併用	10月2日	委員 13人
		2月19日	委員 13人
青少年赤十字100周年事業実行委員会	大阪赤十字会館/ オンライン併用	7月19日	委員 9人
	オンライン	8月20日	委員 8人
	オンライン	9月18日	委員 7人
	大阪赤十字会館/ オンライン併用	12月23日	委員 8人
	書面開催	1月31日	
大阪府青少年赤十字指導者協議会 総合型トレーニング・センター運営委員会	中止		

(4) 高等学校青少年赤十字指導者協議会主催

行 事 名	実施場所	実施期日	出 席 者
大阪府高等学校青少年赤十字メンバー 連絡協議会	オンライン	6月6日	メンバー 31人、指導者 8人
	オンライン	8月8日	メンバー 20人、指導者 5人
	オンライン	9月25日	メンバー 10人、指導者 5人
	大阪赤十字会館/ オンライン併用	11月14日	メンバー 11人、指導者 3人
	大阪赤十字会館/ オンライン併用	2月12日	メンバー 14人、指導者 4人

(5) 青少年赤十字賛助奉仕団主催

行 事 名	実施場所	実施期日	出 席 者
大阪府青少年赤十字賛助奉仕団総会	文書審議	8月	



コロナ禍でもできる青少年赤十字活動について議論を重ねる
大阪府高等学校青少年赤十字メンバー連絡協議会

(1) 本社主催

行 事 名	実施場所	実施期日	参 加 者
青少年赤十字リーダシップ・トレーニング・センター指導者養成講習会	大阪府支部から オンライン	6月5日	オブザーバー参加 日本赤十字社大阪府支部 ボランティア課 主事 山崎 悠
指導主事対象青少年赤十字研究会	オンライン	9月30日	大阪府教育委員会指導部 初等・中学校教育担当 主事 池田 花笑子 堺市教育委員会 学校教育課学校指導課 教務グループ 指導主事 龍巳 雄太

(2) 第4（近畿）ブロック主催

行 事 名	実施場所	実施期日	参 加 者
第4（近畿）ブロック 青少年赤十字指導者研修会			中止
第4（近畿）ブロック 青少年赤十字賛助奉仕団交流研修会			中止

(3) 支部主催

行 事 名	実施場所	実施期日	参 加 状 況
大阪府青少年赤十字指導者養成講習会			中止
大阪府青少年赤十字指導者コンベンション	大阪赤十字会館	2月6日	講演者 守山市立守山小学校 校長 田中 滋規 参加者 15人

(4) 大阪府内ブロック・市町村指導者協議会主催

行 事 名	実施場所	実施期日	参 加 状 況
泉南市青少年赤十字指導者研修会	オンライン	6月9日	参加者 123人
泉南ブロック青少年赤十字指導者講習会			中止
泉南ブロック青少年赤十字 役員・専門委員研修会	オンライン	2月10日	参加者 15人
岸和田市青少年赤十字指導者研修会			開催なし

(1) 本社主催

行 事 名	実施場所	実施期日	参 加 状 況
青少年赤十字創設100周年直前令和3年度 青少年赤十字スタディー・プログラム	大阪府支部から オンライン	12月25日 12月26日	メンバー 10人、指導者 3人

(2) 支部主催

行 事 名	実施場所	実施期日	参 加 状 況
大阪府青少年赤十字メンバー・リーダー シップ総合型トレーニング・センター	中止		
青少年赤十字創設100周年直前大阪府 青少年赤十字高校生リーダーシップ・ スタディー・センター	大阪赤十字会館	3月21日 3月22日	メンバー 29人 指導者 10人 赤十字奉仕団 6人

(3) 大阪府内ブロック・市町村協議会・高等学校協議会主催

行 事 名	実施場所	実施期日	参 加 状 況
泉北ブロック青少年赤十字 リーダーシップトレーニング・センター	開催なし		
和泉市中学校青少年赤十字 トレーニング・センター	開催なし		
泉南ブロック青少年赤十字仲よし交歓会	中止		
岸和田市ブロック別リーダー交流会	中止		
泉北ブロック青少年赤十字のつどい	開催なし		
高校生メンバーによる献血呼びかけ活動	府内献血ルーム /献血バス	12月20日 12月22日	メンバー 86人
堺市青少年赤十字のつどい	中止		
大阪府高等学校青少年赤十字メンバー 連絡協議会 お別れ会	中止		



防災についての理解を深める
青少年赤十字高校生オンライン・スタディー・プログラム

行 事 名	場 所	実施期日	派 遣 者
京阪神支部合同青少年赤十字 国際交流事業（派遣）		延期	

行 事 名	実施期間	成 果
大阪府青少年赤十字 愛のひとにぎり心もち運動	11月15日～12月31日	募金総額 計1,060,056円 実施校 137校園所 ●赤十字の災害救護活動や新型コロナウイルス感染症対応支援 内訳 堺市青少年赤十字指導者協議会 828,268円 大阪狭山市青少年赤十字指導者協議会 5,778円 岸和田市青少年赤十字指導者協議会 65,456円 泉南ブロック青少年赤十字指導者協議会 33,554円 計933,056円 ●インドネシア・コミュニティ防災強化事業支援 内訳 泉南ブロック青少年赤十字指導者協議会 計32,000円 ●福祉施設への贈呈 内訳 岸和田市青少年赤十字指導者協議会 15,000円 泉南ブロック青少年赤十字指導者協議会 80,000円 計95,000円

募 金 活 動	実 施 校	成 果
一円玉募金	大阪市立東陽中学校 田尻町立小学校	計12,221円

学習項目	実施対象と回数		実施期間	実施内容
健康・安全プログラム（救急法を含む）	小学校	5 回	通年	赤十字救急法短期講習 26回
	中学校	10 回		赤十字水上安全法短期講習 0 回
	高 校	10 回		
	教 員	1 回		
	計 26 回			計 1,511 人
福祉体験学習プログラム（資材貸出）	小学校	21 回	通年	車椅子体験 21 回
	中学校	3 回		ガイドヘルプ体験 1 回
	高 校	0 回		高齢者疑似体験 2 回
	教 員	0 回		
	計 24 回			計 1,870 人
国際理解・平和学習プログラム	小学校	4 回	通年	地雷・世界の子どもたちの現状・国際赤十字の援助・平和、キャリア教育、SDG s についてなど
	中学校	0 回		
	高 校	3 回		
	教 員	0 回		
	計 7 回			計 348 人
防災教育プログラム	小学校	3 回	通年	災害時の心構え、炊き出し体験、「まもるいのちひろめるぼうさい」など
	中学校	1 回		
	高 校	5 回		
	教 員	1 回		
	計 10 回			計 1,528 人



人道・平和とは何か考えようと授業をおこなう青少年赤十字出前講座

5 救急法等の講習

1 救急法

病気やけがから自分自身を守り、けが人や急病人を正しく救助し、医師または救急隊に引き継ぐまでの一次救命処置を学ぶ講習を実施しました。

種別	開催回数（回）（主催者別内訳）※1								受講者数（人）
	赤施	赤団	地	学	企	公	他	計	
指導員養成	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基礎	7	3	0	9	2	0	0	21	466
救急員養成	1	0	0	8	0	0	0	9	170
短期講習	3	6	7	48	18	4	10	96	3,153
（うち、オンライン講習）	3	2	0	9	11	2	0	27	1,035
計	11	9	7	65	20	4	10	126	3,789

※1 赤施…赤十字関係施設、赤団…赤十字関係団体、地…地域、学…学校、企…企業、公…公的団体、他…その他

2 水上安全法

水と親しみ、水の事故からいのちを守るための知識や技術を学ぶ講習を実施しました。

種別	開催回数（回）（主催者別内訳）※1								受講者数（人）
	赤施	赤団	地	学	企	公	他	計	
指導員Ⅰ養成	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指導員Ⅱ養成	0	0	0	0	0	0	0	0	0
救助員Ⅰ養成	0	0	0	1	0	0	0	1	19
救助員Ⅱ養成	0	0	0	0	0	0	0	0	0
短期講習	0	0	0	3	0	0	0	3	109
（うち、オンライン講習）	0	0	0	1	0	0	0	1	30
計	0	0	0	4	0	0	0	4	128

3

健康生活支援講習

健やかな高齢期を過ごすための健康維持・増進と高齢者の自立を目指した介護の方法を学ぶ講習を実施しました。

種別	開催回数（回）（主催者別内訳）※1								受講者数（人）
	赤施	赤団	地	学	企	公	他	計	
指導員養成	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支援員養成	0	0	0	0	0	0	0	0	0
短期講習	8	12	0	0	2	1	0	23	282
災害時高齢者生活支援	2	5	0	0	1	2	0	10	253
（うち、オンライン講習）	1	0	0	0	0	0	0	1	17
計	10	17	0	0	3	3	0	33	535

4

幼児安全法

子どもに起こりやすい事故の予防と手当の方法、病気の看病の方法などの知識や技術を学ぶ講習を実施しました。

種別	開催回数（回）（主催者別内訳）※1								受講者数（人）
	赤施	赤団	地	学	企	公	他	計	
指導員養成	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支援員養成	0	0	0	0	0	0	0	0	0
短期講習	14	2	0	17	2	44	0	79	3,254
（うち、オンライン講習）	11	0	0	0	0	3	0	14	2,274
計	14	2	0	17	2	44	0	79	3,254

5 防災セミナー

「地震」や「大雨」への備えについての講義、「災害エスノグラフィー※」など「自助」・「共助」の力を高める講習を実施しました。

※ 災害エスノグラフィー：読み物を通じて過去の災害を追体験することにより、防災・減災に役立つ教訓や知識を学ぶことを目的としたグループワーク。

種別	開催回数（回）（主催者別内訳）※1								受講者数（人）
	赤施	赤団	地	学	企	公	他	計	
講義（地震・津波）	0	1	0	0	0	1	0	2	51
（うち、オンライン講習）	0	0	0	0	0	0	0	0	0
講義（大雨・土砂災害）	1	3	0	0	2	0	0	6	191
（うち、オンライン講習）	1	0	0	0	0	0	0	1	13
計	1	4	0	0	2	1	0	8	242

6 医療事業

大阪・高槻両赤十字病院は、人道の赤十字精神に基づき、安全で良質の医療を提供しています。また、地域の医療機関と連携し、地域完結型の医療を支えるために、病院と診療所などが一体となって地域に根差した医療を推進していきます。

当支部では、赤十字の使命である災害時に医療救護班を迅速に被災地へ派遣するための体制整備や、災害救護及び救急医療用医療機器などの整備に助成しました。また、新型コロナウイルス患者受入体制整備に各2,000万円を支援しました。

大阪赤十字病院

- ・診療科目数 : 36科
- ・指定医療機関認定数 : 38（災害拠点病院など）
- ・特色ある診療施設 : 救命救急センター、心臓血管センター
外来通院治療センター、脳卒中センター、アレルギーセンター
治験・臨床研究管理センター、がん診療センター
患者総合支援センター
- ・許可病床数 : 964床（本院一般862床、精神42床、大手前整肢学園60床）

高槻赤十字病院

- ・診療科目数 : 25科
- ・指定医療機関認定数 : 23（地域支援病院など）
- ・特色ある診療施設 : 緩和ケア専門病棟（別棟）・訪問看護ステーション
- ・許可病床数 : 335床

1 業務実績

大阪赤十字病院 ※（ ）内は前年度増減率

単位：人

区分	患者延数	対前年度比較	一日平均患者数	対前年度比較	紹介率	逆紹介率
入院	222,677	-2,474（1.1%減）	610.1	-6.8（1.1%減）	81.7%	116.1%
外来	386,570	5,540（1.5%増）	1,597.4	22.9（1.5%増）		

高槻赤十字病院 ※（ ）内は前年度増減率

単位：人

区分	患者延数	対前年度比較	一日平均患者数	対前年度比較	紹介率	逆紹介率
入院	90,127	-790（0.9%減）	246.9	-2.2（0.9%減）	61.9%	49.9%
外来	133,696	5,141（4.0%増）	529.0	21.2（4%増）		

（1）大阪赤十字病院

超音波診断装置	13,190,000円
新型コロナウイルス患者受入体制整備支援	20,000,000円

（2）高槻赤十字病院

超音波診断装置	8,400,000円
新型コロナウイルス患者受入体制整備支援	20,000,000円

7 看護師などの教育

当支部管内には、災害救護要員の確保とともに医療施設要員の充足を図るため、大阪赤十字看護専門学校を設置しています。

赤十字の理念を基調とし、豊かな人間性を育み、幅広い能力を備えた看護師としての基本的な教育に加えて、「赤十字概論」「災害看護」「赤十字救急法」など特色のある教育を実施しています。

また、国内外で活躍できる優秀な看護師の質的な充実、高度化を目的として、日本赤十字看護大学、日本赤十字社幹部看護師研修センターへの養成委託の推進を図っています。

1 大阪赤十字看護専門学校

(1) 学生の内訳

単位：人

区分	2 年生（113回生）	3 年生（112回生）	計
生徒数	30	46	76

(2) 支部による経費の負担

救護看護師養成経費 5,110,000円

(3) 看護師国家試験合格者

46人

2 赤十字看護大学の学生への奨学金貸与

(1) 人 数

18人 ※年額60万円を貸与

(2) 貸与金額

10,800,000円（支部負担額は5,400,000円）

(3) 貸与生の内訳

単位：人

1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	計
2	3	6	7	18



大阪赤十字看護専門学校 戴帽式

8 社会福祉

1 大手前整肢学園

大阪赤十字病院附属大手前整肢学園は、医療型障がい児入所施設として大阪赤十字病院の診療部門各科並びに検査部門と密接に連携し、高度な医療サービスを提供しています。当支部では、同学園の入所児童の生活向上に資するよう機器整備に助成しました。

事業内容	利用者延数（人）	1日平均利用者数（人）
医療型障がい児入所施設 （肢体不自由児・重症心身障がい児）	13,149	36.0
療養介護 （肢体不自由者・重症心身障がい者）	4,350	11.9
医療型児童発達支援	1,754	7.3

事業内容	利用者件数（件）
保育所等訪問支援	40
相談支援事業（障害児相談支援・計画相談支援）	206

2 支部による整備費（社会福祉施設の整備）

ティーマサーバー（1台） 260,000円

9 血液事業

血液事業は、「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」（平成15年7月30日施行）に基づき、各市町村献血推進協議会及び各種献血協力団体の理解と協力を得ながら大阪府赤十字血液センターをはじめ府内11か所の献血施設と移動採血車で献血の受入を行い、医療機関へ血液製剤を供給しています。

当支部では、府内の医療機関で必要な血液製剤をより安全に安定的に供給できるよう、血液運搬車の整備に助成しました。

1 献血状況累計

単位：人

施設/採血方法 (構成比率)		200mL (2.4%)	400mL (64.1%)	成分 (33.6%)	計 (100%)	目標数	達成率 (%)
血液センター（森之宮・南大阪）		258	9,685	13,258	23,201	22,765	101.9
採血車		4,670	107,206	0	111,876	130,422	92.1
オープン		359	7,933	0	8,292		
献 血 ル ー ム	門真献血ルーム	125	18,947	0	19,072	18,469	103.3
	阪急グランドビル25献血ルーム	751	26,885	27,058	54,694	49,574	110.3
	あべの献血ルームKiZooNa	991	22,475	24,441	47,907	43,429	110.3
	西梅田献血ルーム	256	10,657	15,143	26,056	26,686	97.6
	まいどなんば献血ルーム	329	19,463	11,896	31,688	30,983	102.3
	御堂筋献血ルームCROSS CAFÉ	990	12,484	12,811	26,285	25,275	104.0
	阪急茨木市駅献血ルーム	198	5,852	9,463	15,513	14,939	103.8
	京阪枚方市駅献血ルーム	246	6,468	10,206	16,920	15,918	106.3
堺東献血ルーム		190	6,327	8,997	15,514	15,507	100.0
計（人）		9,363	254,382	133,273	397,018	393,967	100.8

（前年度献血者数）396,847人

（対前年比）100.0%

2 血液製剤の供給本数

単位：本

区分	血小板	血漿	赤血球	全血	計
供給本数	64,047	88,888	278,793	0	431,728

3 支部による支援（採血受入機関の整備等）

（1）採血受入機関整備費 車両の整備 血液運搬車（1台） 2,500,000円

（2）赤十字血液センターへの支援

派遣期間	活動場所	派遣人数
9月1日～9月29日	献血ルーム・献血バス	延べ 20人

10 活動資金の募集

1 財政基盤の強化

日本赤十字社では、5月1日から全国一斉に「赤十字運動月間」を展開し、赤十字の理念と活動内容をより多くの皆さまに知っていただくとともに、活動資金のご協力をお願いしています。

令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、活動資金の募集時期を5月・6月を中心としつつ、地域の実情に応じ柔軟に活動を実施いたしました。経済的に厳しい状況の中、活動資金募集目標額8億円に対して、府民の皆さまのご支援とご協力、故人からの遺言によるご寄付（遺贈）、また地域赤十字奉仕団や地区・分区関係者の多大なご尽力をもって、19億5,387万余円という実績を収めることができました。

2 活動資金募集実績表

（令和3年度）

（単位：円）

地区区分名	目標額	実績額	内訳			
			一般社資		ダイレクトメール（DM）	
			地区（地域）	支部	法人	個人
北 地 区	28,758,000	13,548,481	4,785,279	4,806,832	2,272,000	1,684,370
都 島 地 区	9,114,000	6,464,255	4,303,514	1,317,000	275,000	568,741
福 島 地 区	8,504,000	7,284,400	5,150,400	690,000	528,000	916,000
此 花 地 区	5,288,000	4,851,965	3,376,300	1,130,000	113,000	232,665
中 央 地 区	33,440,000	11,708,477	3,416,800	2,958,637	4,600,040	733,000
西 地 区	14,523,000	6,631,950	2,000,000	1,539,000	2,535,950	557,000
港 地 区	6,425,000	7,975,072	5,335,072	1,537,000	639,000	464,000
大 正 地 区	4,436,000	5,281,357	3,366,300	746,688	782,000	386,369
天 王 寺 地 区	9,221,000	5,205,604	1,449,855	2,180,600	523,670	1,051,479
浪 速 地 区	7,900,000	5,838,500	2,933,500	1,008,000	1,483,000	414,000
西 淀 川 地 区	7,414,000	9,989,214	5,284,400	717,814	2,785,000	1,202,000
淀 川 地 区	18,509,000	15,451,886	9,174,017	1,603,600	1,719,269	2,955,000
東 淀 川 地 区	14,136,000	15,461,315	11,577,229	1,789,536	300,000	1,794,550
東 成 地 区	6,935,000	12,093,932	9,302,932	1,890,000	370,000	531,000
生 野 地 区	9,308,000	13,524,297	9,447,940	2,070,937	623,420	1,382,000
旭 地 区	6,550,000	8,267,765	5,992,015	822,750	502,000	951,000
城 東 地 区	12,513,000	14,662,254	10,847,989	2,224,000	414,000	1,176,265
鶴 見 地 区	7,988,000	9,759,294	7,790,294	1,073,000	355,000	541,000
阿 倍 野 地 区	10,264,000	8,773,116	5,707,660	1,384,456	283,000	1,398,000
住 之 江 地 区	8,830,000	6,121,892	2,482,755	1,675,637	1,382,000	581,500
住 吉 地 区	11,057,000	9,200,895	6,452,926	1,504,804	226,000	1,017,165
東 住 吉 地 区	9,361,000	7,259,205	5,156,305	1,193,900	374,000	535,000
平 野 地 区	12,987,000	16,011,518	11,879,967	2,263,551	476,000	1,392,000
西 成 地 区	6,539,000	5,574,964	3,077,950	755,014	235,000	1,507,000
小計（大阪市）	270,000,000	226,941,608	140,291,399	38,882,756	23,796,349	23,971,104

(単位：円)

地区区分名	目標額	実績額	内訳			
			一般社資		ダイレクトメール（DM）	
			地区（地域）	支部	法人	個人
堺市堺区地区	13,006,000	10,220,661	5,461,001	3,426,575	515,000	818,085
堺市中区地区	6,346,000	6,408,186	4,509,852	1,071,264	212,070	615,000
堺市東区地区	6,917,000	5,761,880	4,466,787	854,093	27,000	414,000
堺市西区地区	10,604,000	9,936,964	6,098,395	2,145,694	816,535	876,340
堺市南区地区	9,027,000	6,701,596	3,913,943	1,646,104	71,000	1,070,549
堺市北区地区	10,834,000	6,863,882	3,803,090	1,197,930	545,000	1,317,862
堺市美原区地区	3,266,000	3,721,548	2,998,387	432,161	250,000	41,000
小計（堺市）	60,000,000	49,614,717	31,251,455	10,773,821	2,436,605	5,152,836
岸和田市地区	8,565,000	7,667,037	5,370,616	1,054,400	466,000	776,021
豊中市地区	23,665,000	18,306,330	11,218,093	2,919,693	1,277,650	2,890,894
池田市地区	6,264,000	4,104,383	2,511,720	1,056,300	243,000	293,363
吹田市地区	23,079,000	12,111,645	3,488,214	3,705,218	473,000	4,445,213
泉大津市地区	3,631,000	5,496,260	2,627,260	2,620,000	70,000	179,000
高槻市地区	18,049,000	19,140,245	12,274,830	3,200,182	487,000	3,178,233
貝塚市地区	3,877,000	3,827,656	2,956,740	529,000	67,916	274,000
守口市地区	7,296,000	19,215,371	6,597,335	11,100,230	939,606	578,200
枚方市地区	20,141,000	16,039,281	10,781,154	2,099,500	424,000	2,734,627
茨木市地区	15,474,000	14,997,086	8,876,225	2,456,361	418,000	3,246,500
八尾市地区	13,269,000	14,748,178	6,477,038	4,628,140	994,000	2,649,000
泉佐野市地区	5,218,000	3,543,397	2,377,356	628,041	198,000	340,000
富田林市地区	5,324,000	4,385,565	2,818,838	761,267	370,000	435,460
寝屋川市地区	10,902,000	16,602,719	14,383,719	942,000	568,000	709,000
河内長野市地区	4,832,000	3,655,635	2,361,735	627,000	205,000	461,900
松原市地区	5,405,000	4,630,664	3,630,410	279,500	231,000	489,754
大東市地区	5,892,000	8,289,886	6,048,386	854,000	720,000	667,500
和泉市地区	8,601,000	21,125,185	5,571,724	11,181,485	3,805,000	566,976
箕面市地区	8,076,000	9,765,991	7,473,084	1,488,907	80,000	724,000
柏原市地区	3,275,000	4,874,685	3,760,585	705,000	235,000	174,100
羽曳野市地区	4,928,000	5,667,853	4,419,045	560,000	188,000	500,808
門真市地区	5,959,000	4,543,373	3,137,501	711,872	232,000	462,000
摂津市地区	4,851,000	5,999,306	3,449,735	592,305	1,485,000	472,266
高石市地区	2,846,000	2,577,312	2,007,577	176,235	160,000	233,500
藤井寺市地区	3,179,000	2,762,937	1,695,652	701,000	0	366,285
東大阪市地区	25,285,000	31,140,057	19,692,997	3,795,601	4,130,670	3,520,789
泉南市地区	2,478,000	2,776,914	1,960,914	378,000	35,000	403,000
四條畷市地区	2,579,000	4,317,856	3,924,856	123,000	160,000	110,000
交野市地区	3,626,000	6,430,120	5,427,120	551,500	80,000	371,500
大阪狭山市地区	2,947,000	2,749,325	1,916,725	199,000	57,000	576,600
阪南市地区	2,275,000	2,585,918	2,140,918	188,000	30,000	227,000
三島地区島本町分区	1,630,000	1,261,965	938,415	204,550	10,000	109,000
豊能地区豊能町分区	894,000	785,415	373,362	358,053	0	54,000
豊能地区能勢町分区	399,000	585,576	541,576	17,000	22,000	5,000
泉北地区忠岡町分区	757,000	771,541	680,541	31,000	0	60,000
泉南地区熊取町分区	1,933,000	2,931,210	1,953,675	570,535	130,000	277,000
泉南地区田尻町分区	425,000	426,428	402,428	14,000	0	10,000
泉南地区岬町分区	671,000	884,018	721,018	84,000	10,000	69,000
南河内地区太子町分区	577,000	846,900	778,900	63,000	0	5,000
南河内地区河南町分区	711,000	1,192,876	1,120,876	27,000	10,000	35,000
南河内地区千早赤阪村分区	215,000	761,406	713,406	5,000	0	43,000
小計	270,000,000	294,525,505	179,602,299	62,186,875	19,011,842	33,724,489
大阪市小計	270,000,000	226,941,608	140,291,399	38,882,756	23,796,349	23,971,104
堺市小計	60,000,000	49,614,717	31,251,455	10,773,821	2,436,605	5,152,836
衛星都市郡部小計	270,000,000	294,525,505	179,602,299	62,186,875	19,011,842	33,724,489
支部直小計	200,000,000	1,382,792,102	0	1,277,832,126	42,621,305	62,338,671
総計	800,000,000	1,953,873,932	351,145,153	1,389,675,578	87,866,101	125,187,100

3 会員数

個人	法人	計
11,733人	3,099社	14,832（人・社）

4 日赤地区分区事務担当者等会議・研修会

実施日	名称	会場	参加人数(人)
4月9日	日赤地区分区事務担当者説明会	日赤会館	32
1月24日	日赤地区分区事務担当者研修会	日赤会館	22
1月24日	日赤大阪衛星都市郡部地区分区事務連絡会	文書審議	40

11 赤十字の広報

赤十字の活動は、皆様からいただく貴重な活動資金をもとに行われていることから、積極的かつ効果的な広報活動に努めています。

当支部では、5月・6月の「赤十字運動月間」を中心に、各地区・分区を通じて機関紙の配布や回覧、ホームページやSNSなどの各種広報媒体を有効に活用し、赤十字の基本理念や活動内容を紹介することで、より一層赤十字への理解と協力を求めています。

1 広報物の作成

資材名	使用区分	作成数(部)	活用方法
日赤大阪 [振込用紙無]	広報	5,500	有功会員や管内施設へ配布 各種イベント時に配布
	活動資金 募集	634,500	法人・個人・有功会員へ配布 地区・分区から地域へ配布、回覧 法人勧奨用の資材として配布
日赤大阪 [振込用紙有]	広報	905,000	大阪市、堺市、門真市の読賣・朝日・毎日・産経・ 日経新聞に折り込み等
	活動資金 募集	10,000	各種イベント時に配布 一部地区・分区や管内施設に配布
ポケットティッシュ	広報	8,500	支部や地区分区のイベントなどで配布
	活動資金 募集	261,000	地区・分区から地域へ配布
事業報告書	広報	50	評議員会用資料、支部HPに公開
事業計画	広報	1,950	評議員会用資料、支部HPに公開
私たちの想い	広報	15,000	前年度支援者に配布 大阪府赤十字大会などで配付
赤十字運動月間のお礼用チラシ	活動資金 募集	57,000	地区・分区から地域へ回覧
赤十字カレンダー	記念品	4,700	大阪府赤十字大会などで配付

2 マスメディア等による広報

(1) テレビ放送

会社名	CMの種類	放送回数（回）		無償放送依頼期間	
		無償	有償	無償	有償
株式会社毎日放送	日赤 「あなたの手となり、 ぬくもりとなり」月間篇 （15秒）	0	2	5月1日～ 3月31日	5月1日～ 6月30日
朝日放送テレビ株式会社		100	2		
関西テレビ放送株式会社		0	2		
読賣テレビ放送株式会社		1	2		
テレビ大阪株式会社		43	2		
株式会社ジュピターテレコム		90	10		
阪急電鉄株式会社	同（30秒）	600	—		

※ 放送回数は5月1日～6月30日の実績。

※ 阪急電鉄株式会社には、阪急梅田駅構内BIGMANでの放送実績。



(2) 駅貼りポスター

会社名	ポスターの種類	掲出数（枚）	掲出依頼期間
JR 西日本 大阪支社管内	赤十字運動月間ポスター （B2）	120	5月1日～31日の内の 7～31日間（無償）
近畿日本鉄道		10	
阪急電鉄		55	
阪神電気鉄道 阪神電気鉄道内 神戸高速鉄道内含む		50	
京阪電気鉄道		45	

※ 近畿日本鉄道での掲出は、デジタルサイネージを活用したもの。

- ア 赤十字運動月間ポスターを各地区分区及び町内会などで掲示
- イ 各地区町村発行の広報紙に赤十字活動の記事の掲載
- ウ 支部ホームページ及びフェイスブックの活用（最新情報の発信及び報告）
- エ 市区町村の庁舎及び支部社屋に赤十字運動用の幟を立てるとともに、支部社屋前掲示板でのPR
- オ DVD（私たちの想いや赤十字この一年など）の活用

12 赤十字思想及び 国際人道法の普及

国際人道法は、「武力紛争のもたらす不必要な犠牲や損害を防止すること」を目的としています。

赤十字思想及び国際人道法の普及は、国際赤十字・赤新月運動の重要な使命であり、まず赤十字職員が赤十字や国際人道法を知ることからはじめ、多くの方に理解・共感していただくことを目指しています。

1 国際人道法の普及

(1) 第4ブロック合同国際人道法普及研修の開催

主催：日本赤十字社第4ブロック支部

対象：第4ブロック支部施設職員、大阪府・府内各市国民保護担当者・青年／学生
赤十字奉仕団

実施日	会場	内容
新型コロナウイルス感染症の影響により中止	大阪赤十字会館	国際人道法概論、赤十字標章、有事関連法と日本赤十字社、グループワークなど

(2) 国際人道法普及セミナー（WEB研修）への協力及び参加

主催：日本赤十字社（本社）

内容：講師として職員を派遣、受講者として職員が参加（WEB研修の受講）

実施日	会場	内容
2月16日～18日	WEB開催	(1) 日本赤十字社における国際人道法の普及・啓発に関する方針についての理解 (2) 国際人道法に関する最新の動向の把握 (3) 国際人道法の普及スキルの習得、向上 (4) 各支部施設における普及計画の策定（普及の実施）

(3) その他

ア 新規採用職員研修における国際人道法に関する講義（新型コロナウイルス感染症の影響により中止）

イ 近畿ブロックキャリア開発ラダー研修における国際人道法に関する講義

ウ 大阪赤十字看護専門学校における国際人道法に関する講義

13 評議員会

評議員会は、日本赤十字社定款第71条に基づき、支部の重要な業務について審議し、支部長の諮問に答えるほか、本社代議員並びに支部長・副支部長及び監査委員の選出にあたります。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、文書による審議となりました。

1 開催状況

期日	会場	議案
令和3年 6月11日	文書審議	(1) 令和2年度大阪府支部歳入歳出決算について (2) 令和2年度大阪赤十字病院歳入歳出決算について (3) 令和2年度大手前整肢学園歳入歳出決算について (4) 令和2年度高槻赤十字病院歳入歳出決算について (5) 令和2年度大阪府赤十字血液センター事業報告について
令和4年 2月1日	文書審議	(1) 令和4年度大阪府支部事業計画案並びに歳入歳出予算案について (2) 令和4年度大阪赤十字病院事業計画案並びに歳入歳出予算案について (3) 令和4年度大手前整肢学園事業計画案並びに歳入歳出予算案について (4) 令和4年度高槻赤十字病院事業計画案並びに歳入歳出予算案について (5) 令和4年度大阪府赤十字血液センター事業計画案について (6) 令和3年度大阪府支部歳入歳出補正予算案について (7) 令和3年度大阪赤十字病院歳入歳出補正予算案について (8) 令和3年度高槻赤十字病院歳入歳出補正予算案について (9) 支部長の選出について (10) 代議員の選出について

14 赤十字大会

日赤大阪府支部に多額の活動資金を寄せられた篤志家ならびに業務に功労のあった奉仕者に対し、有功章、社長感謝状が贈られました。

なお、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、規模を大幅に縮小し、令和3年11月25日に開催いたしました。

1 表彰者の内訳

表彰名	受表彰者数
金色有功章（社資功労）	67人、30法人・団体
〃（業務功労）	51人
銀色有功章（社資功労）	73人、38法人・団体
〃（業務功労）	173人
日本赤十字社社長感謝状（社資功労）	53人、42法人・団体
〃（業務功労）	15人
支部長表彰状・感謝状（社資功労）	170人、58法人・団体
〃（業務功労）[金枠]	174人
〃（業務功労）[銀枠]	768人
幹事功労感謝状	2人
活動資金募集目標達成表彰状	28地区・分区
協力団体感謝状	73団体

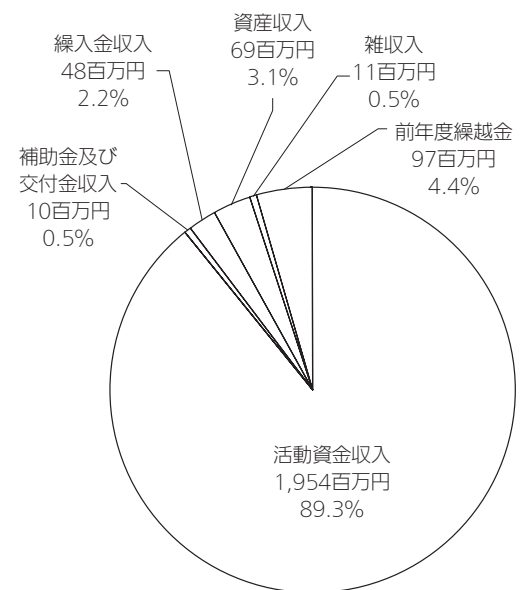
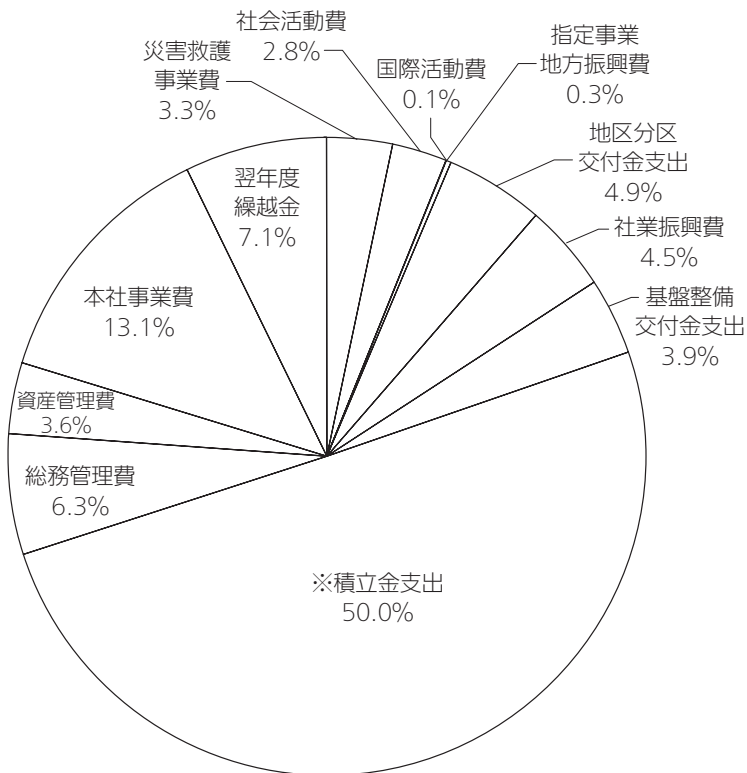
15 会計

1 活動資金の収入支出

(百万円未満原則四捨五入、端数調整あり)

支出 21億8,805万円

収入 21億8,805万円



※当初の見込を上回る活動資金収入により、支部及び管内施設の施設整備のための積立を行いました。

(注) グラフ内の割合 (%) については、小数第二位を四捨五入して表記しているため、合計が100%にならない場合があります。

百万円

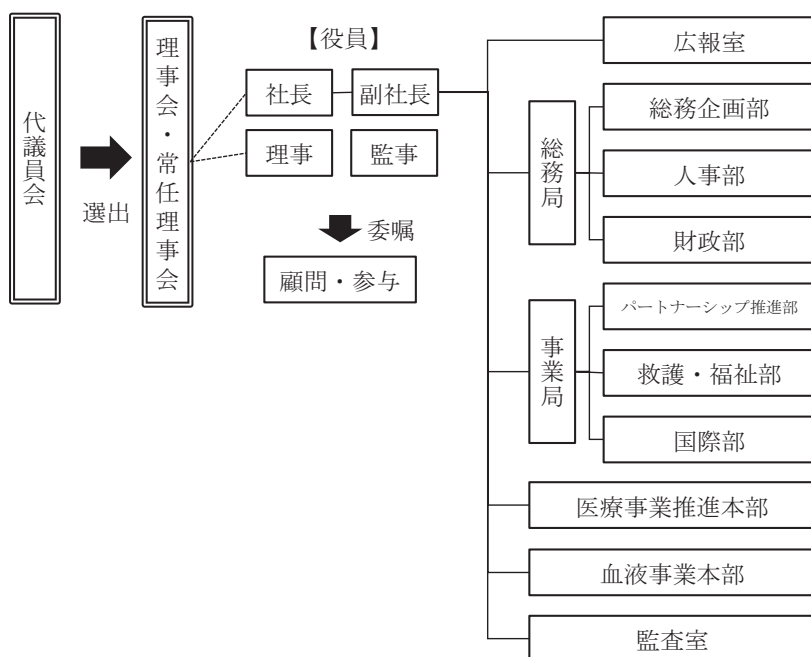
災害救護事業費	73	救護訓練の実施、救護員の研修、災害救護装備の整備など
社会活動費	61	救急法などの講習会、赤十字ボランティアや青少年赤十字など
国際活動費	1	途上国の災害対策や保健医療の強化など
指定事業地方振興費	8	災害用医薬品や救護用通信機器の整備など
地区区分交付金支出	108	地域の赤十字活動
社業振興費	98	赤十字大会、活動資金募集や広報活動、国際人道法の普及
基盤整備交付金支出	86	医療事業・社会福祉・血液事業を行っている関連施設の施設整備
積立金支出	1,095	施設整備積立金、事業準備積立金の積立
総務管理費	139	職員の人件費や研修費、社会保険料や固定資産税など
資産管理費	79	支部社屋の維持管理
本社事業費	286	本社の活動費
翌年度繰越金	156	
支出計	2,188	

16 支部の機構と役職員

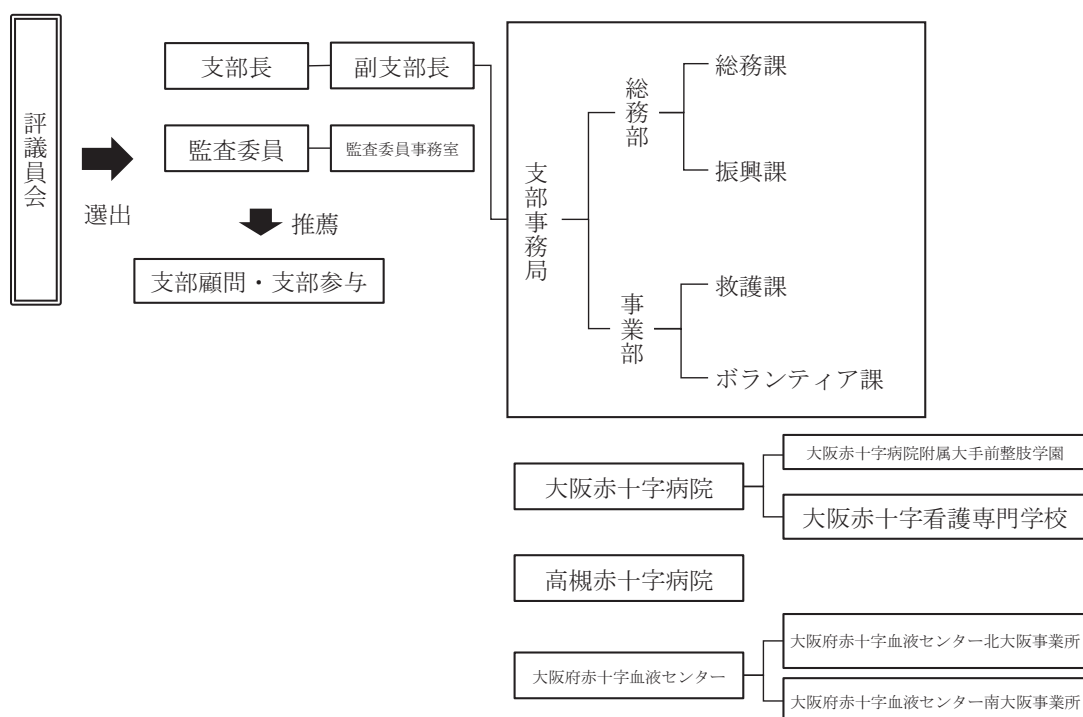
1 機構

日本赤十字社の本社は東京に、支部は各都道府県庁の所在地におかれています。各支部の管内には地区と分区があり、地区は都または市の区と市、分区は町村にあります。また、政令指定都市には区地区を統括する地区本部があります。各都道府県にある赤十字病院、血液センターなどの施設は、一部本社直轄のものを除いてすべて支部に所属しています。

(1) 本社



(2) 支部及び管内施設



(3) 大阪市地区本部



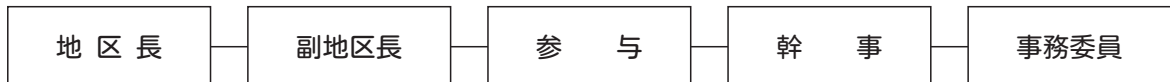
(4) 堺市地区本部



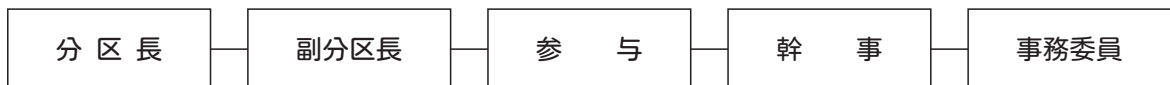
(5) 地区（大阪市）



(6) 地区（堺市の区・衛星都市）



(7) 分区（町・村）



(注)

大阪市は、平成24年7月31日をもって日赤地区業務を返上したことで、平成25年4月1日から社資の受領・送金などの業務を大阪市各区の社会福祉協議会で取り扱うこととなりました。

これにより、大阪市地区本部は日本赤十字社大阪府支部内に置き、大阪市赤十字奉仕団長に地区本部長を、大阪市社会福祉協議会長に地区本部長代行を委嘱しています。

また、大阪市各区の地区長については、各区の赤十字奉仕団長に、各区の社会福祉協議会長に地区長代行を委嘱しています。

17 大阪日赤有功会

大阪日赤有功会は、昭和45年12月、日本赤十字社名誉副総裁であられた高松宮妃殿下をお迎えしての発会式を盛大に挙行し、大阪商工会議所市川忍会頭（第18代会頭）をはじめとする23人の発起人により発足しました。現在約580人の会員を擁しています。

1 活動資金募集協力

令和3年度は、会員並びに会員の紹介者から281人（社）、57,563,951円の活動資金を日本赤十字社大阪府支部に寄付しました。

令和2年度の功勞に対して、日本赤十字社大阪府支部長から感謝状を受表彰しました。
また、高額寄付者に対するお礼の品（泉州タオル）の作製を助成しました。

2 赤十字活動への支援

- (1) コロナ禍、アフターコロナにおける赤十字活動全般の Web 対応のため、液晶モニターの設置や LAN 回線の配線などの整備に協力しました。オンラインを活用してボランティア、青少年赤十字メンバーの会議などを実施することができました。
- (2) コロナ禍における赤十字幼児安全法講習事業を支援するため、昨年引き続き心肺蘇生の講習用の人形4体を寄贈しました。
- (3) 日本赤十字社大阪府支部所属の裁縫ボランティアの方々にマスク布地やゴム紐等を提供し、縫製いただいたマスクを生活困窮者の支援団体等へ寄贈しました。

3 修学奨励

- (1) 大阪赤十字看護専門学校の卒業生46人に電卓・ライト付バイブタイマーを贈呈しました。
- (2) 大手前整肢学園内の大阪府立堺支援学校大手前分校の新入生3人、卒業生3人それぞれにバッグを贈呈しました。

4 会報誌の発行

令和4年1月に会報誌第14号を発行し、会員相互の情報交流を推進しました。

5 広報紙「日赤大阪」等の配付

日本赤十字社大阪府支部の広報紙「日赤大阪」、「事業報告書」、「事業計画」、「赤十字カレンダー」を会員に送付しました。

6 総会の開催（文書審議）

令和2年度の事業報告並びに収支決算、令和3年度の事業計画（案）並びに収支予算（案）について審議した結果、有功会員622名のうち363名（過半数）の方々から賛同を賜り承認されました。

7 常任委員会の開催（文書審議）

（1）第1回（令和4年3月）

- イ 令和3年度事業報告並びに収支決算（見込）について審議しました。
- ロ 令和4年度事業計画（案）並びに収支予算（案）について審議しました。
- ハ 役員の改選について審議しました。

大阪府内の赤十字施設

日本赤十字社大阪府支部

	住 所	〒540-0008 大阪府中央区大手前2-1-7
	電 話	06-6943-0705
	ファックス	06-6941-2038
	ホームページ	https://www.jrc.or.jp/chapter/osaka/

大阪赤十字病院

	住 所	〒543-8555 大阪市天王寺区筆ヶ崎町5-30	
	電 話	06-6774-5111	
	ファックス	06-6774-5131	
	ホームページ	https://www.osaka-med.jrc.or.jp/	
	附属施設	大阪赤十字看護専門学校	06-6774-5055
大手前整肢学園		06-6775-1900	

高槻赤十字病院

	住 所	〒569-1096 高槻市阿武野1-1-1
	電 話	072-696-0571
	ファックス	072-696-1228
	ホームページ	http://www.takatsuki.jrc.or.jp/

大阪府赤十字血液センター

	住 所	〒536-8505 大阪府城東区森之宮2-4-43
	電 話	06-6962-7001
	ファックス	06-6968-4900
	ホームページ	https://www.bs.jrc.or.jp/kk/osaka/index.html

献血ルーム一覧

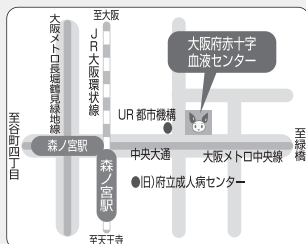
大阪府赤十字血液センター

☎ 0120-326759

大阪府城東区森之宮 2-4-43
JR 大阪環状線、大阪メトロ中央線・
長堀鶴見緑地線森ノ宮駅東へ350m

受付時間 9時～17時
(成分献血は16時30分まで)
(ただし、日曜日に限り15時まで)

休日 土曜日、祝日(振替休日含む)、年末年始
※ただし、日曜日と祝日が重なった場合は
日曜日を開設します。



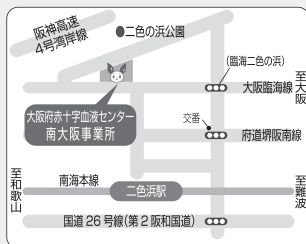
大阪府赤十字血液センター南大阪事業所

☎ 0120-736759

大阪府貝塚市沢 356-1
南海本線二色浜駅下車
西へ徒歩 15 分

受付時間 9時～17時
(成分献血は15時まで)

開設日 土曜日
(祝日、年末年始は除く)



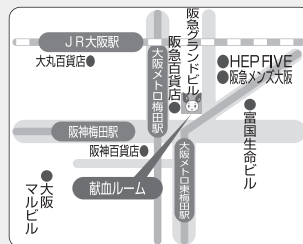
阪急グランドビル25献血ルーム

☎ 0120-376759

大阪市北区角田町 8-47
阪急グランドビル 25 階

受付時間 10時～13時、14時～18時
(成分献血は17時30分まで)
(ただし、土・日・祝に限り15時まで)

休日 年末年始



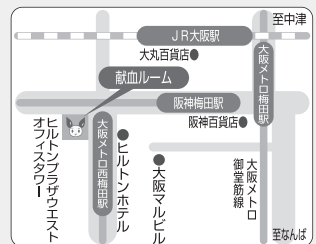
西梅田献血ルーム

☎ 0120-316759

大阪市北区梅田 2-2-2
ヒルトンプラザウエスト
オフィスタワー 10 階

受付時間 10時～13時、14時～18時
(成分献血は17時30分まで)
(ただし、土・日・祝に限り15時まで)

休日 年末年始



御堂筋献血ルーム CROSS CAFÉ

☎ 0120-276759

大阪市中央区西心斎橋 1-4-5
御堂筋ビル地下 1 階
大阪メトロ心斎橋駅 7 号出口より南へすぐ

受付時間 10時～13時、14時～18時
(成分献血は17時30分まで)
(ただし、土・日・祝に限り15時まで)

休日 年末年始



まいどなんば献血ルーム

☎ 0120-296759

大阪市中央区難波 4-4-4
難波御堂筋センタービル 4 階
大阪メトロ御堂筋線なんば駅 10 号出口直結

受付時間 10時30分～13時、14時～18時30分
(成分献血は17時30分まで)
(ただし、土・日・祝に限り15時まで)

休日 年末年始



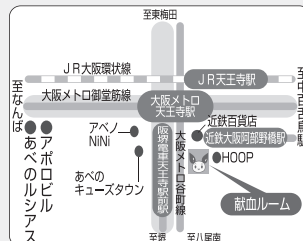
あべの献血ルーム KiZooNa

☎ 0120-366759

大阪市阿倍野区阿倍野筋 1-3-21
岸本ビル 3 階

受付時間 10時～13時、14時～18時
(成分献血は17時30分まで)
(ただし、土・日・祝に限り15時まで)

休日 年末年始



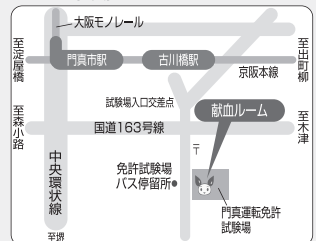
門真献血ルーム

☎ 0120-356759

大阪府門真市一番町 23-16
門真運転免許試験場 別館 1 階
京阪本線古川橋駅下車後、
京阪バス免許試験場、または徒歩約 1.2km

受付時間 9時～12時、13時～16時30分
(全血献血のみ受付)

休日 土曜日、祝日(振替休日含む)、年末年始
※ただし、日曜日と祝日が重なった場合は
日曜日を開設します。
※駐車場はありません。



京阪枚方市駅献血ルーム

☎ 0120-336759

大阪府枚方市岡東町 19-1
京阪枚方市駅東口 1 階
5 号階段横

受付時間 10時～13時、14時～18時
(成分献血は17時30分まで)
(ただし、土・日・祝に限り15時まで)

休日 金曜日、第1・3日曜日、年末年始



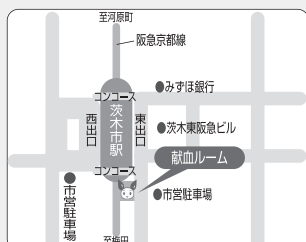
阪急茨木市駅献血ルーム

☎ 0120-346759

大阪府茨木市永代町 1-5
阪急京都線茨木市駅
ロサヴィア 1 階東側

受付時間 10時～13時、14時～18時
(成分献血は17時30分まで)
(ただし、土・日・祝に限り15時まで)

休日 水曜日、第3土曜日、第4日曜日、
年末年始



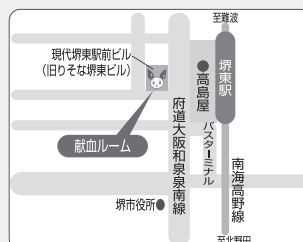
堺東献血ルーム

☎ 0120-386759

大阪府堺市堺区北瓦町 2-4-18
現代堺東駅前ビル 5 階
(旧りそな堺東ビル)

受付時間 10時～13時、14時～18時
(成分献血は17時30分まで)
(ただし、土・日・祝に限り15時まで)

休日 木曜日、第3日曜日、年末年始



令和3年度 事業報告書

令和4年6月発行

日本赤十字社大阪府支部

〒540-0008

大阪市中央区大手前2-1-7

電話：06-6943-0705(代表)

FAX：06-6941-2038

URL：<https://www.jrc.or.jp/chapter/osaka/>

Facebook：<http://www.facebook.com/jrcosaka/>